

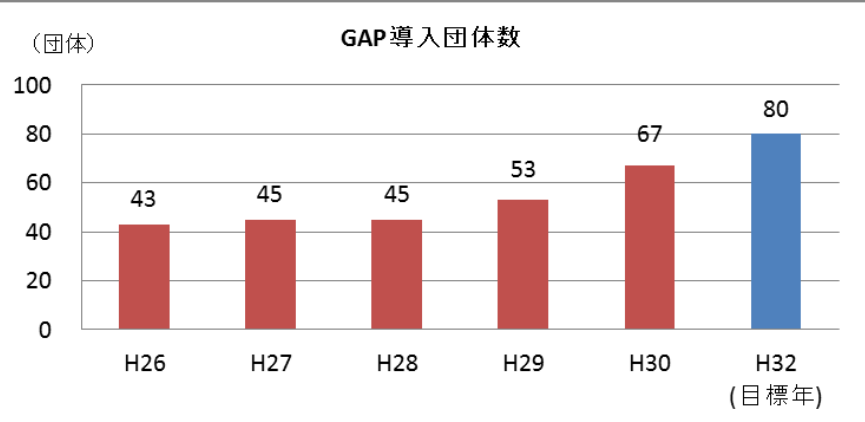


みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に向けた 平成30年度事業の実施状況及び令和元年度の主な取組(概要版)



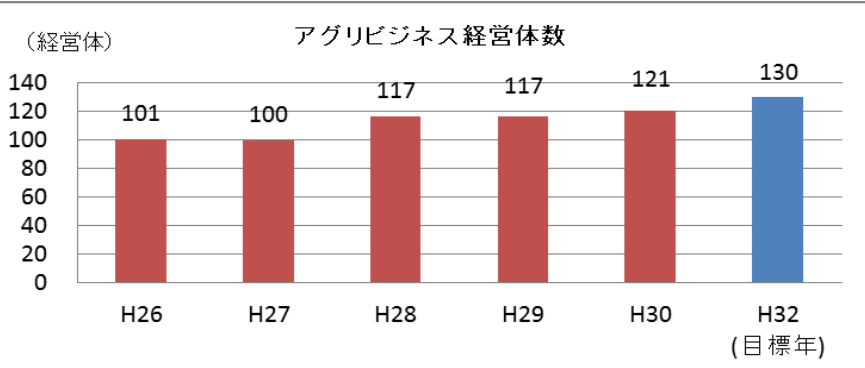
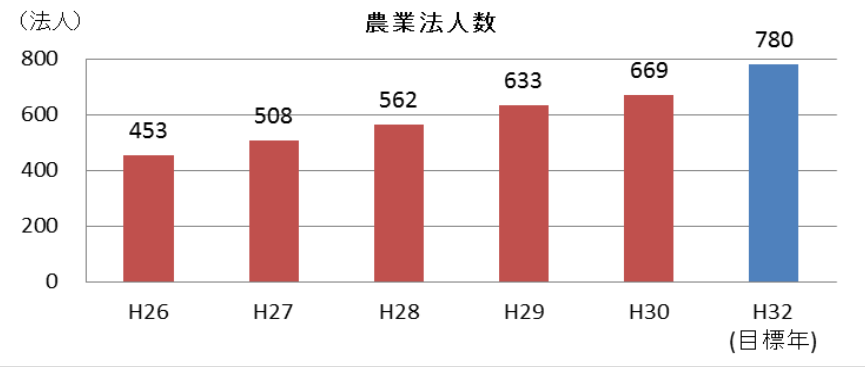
環境生活農林水産委員会配布資料
令和元年8月21日
農政部

資料2

I 消費者が求める安全・安心な食料の安定供給

平成30年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等	令和元年度の主な取組
<p>①② 消費者と農畜産物の安全確保の相互理解の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業生産工程管理（GAP）実践普及拡大に向け、生産者及びJA等を対象とした研修会を開催した。また、農産物の放射性物質検査等を実施し定期的に公表した。 ● 小中学校が行う農業体験学習支援や高校生地産地消お弁当コンテスト、食材王国みやぎ「伝え人」等を活用した食育の取組を支援した。  <p>農業高校でのJGAP取得に向けた取組の現地研修</p>  <p>高校生地産地消お弁当コンテスト</p>	<p>◎農業法人等のGAPへの取組が増加</p>  <p>◎農業体験等の学習に取り組む小中学校の割合が増加</p> <p>目標値 : 100% 平成27年度 71.2% → 平成29年度 82.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業法人や生産組織等を対象にGAP導入を支援するとともに、GAP指導員を育成する。 【GAP認証取得推進事業】 ● 畜産物の生産段階における「飼養衛生管理基準」の周知徹底及び家畜伝染病の発生予防とまん延防止を推進する。 【家畜衛生対策事業、家畜伝染病予防事業】 ● 農畜産物の放射性物質検査を実施し、県産農産物の安全性確保に努める。 【県産農林水産物放射性物質対策事業】 ● 「食材王国みやぎ地産地消の日」の周知、高校生地産地消お弁当コンテストの開催、地産地消推進店との連携等により、全県的な地産地消の取組を推進する。 【食育・地産地消推進事業】

II マーケットインによる競争力と個性のある農業の持続的な発展

平成30年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等	令和元年度の主な取組
<p>③④ 加競争力ある担い手の確保・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アグリビジネスに取り組む経営体へ経営発展段階に応じた経営者養成講座を開催した。 ● 農業関係機関の連携の下、宮城県農業経営相談所を設置し、農業経営の法人化や次世代への継承等を促進するため個別経営改善を支援した。 ● 震災後設立された大規模経営体を中心に、民間専門家と連携した伴走型支援を実施した。 ● 地域農業の中核となる認定農業者・組織経営体への経営発展への支援や、新規就農者の確保・育成に向けた相談会や研修などの開催、企業の農業参入を推進した。  <p>専門家派遣(社会保険労務士)による支援</p>  <p>FOODEX JAPAN 2019 宮城県ブース</p>	<p>◎震災後、アグリビジネス経営体数、農業法人数ともに増加</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ● 6次産業化等のアグリビジネスを推進するとともに、企業と連携した商品開発等や必要な機械・施設の整備を支援する。 【アグリビジネス経営確立支援事業、企業との連携による6次産業化支援強化事業】 ● 農業者の抱える様々な経営課題に対応するため、「宮城県農業経営相談所」の支援による農業経営の法人化や、民間専門家と連携した伴走型支援等による農業経営の高度化を推進する。 【農業経営者総合サポート事業、農業法人経営安定化ハンズオン支援モデル事業】 ● 女性農業者の活躍機会の拡大を図るため、次世代のリーダー育成や女性農業者同士の連携促進、新たな取組による経営の多角化、働きやすい就業環境整備などを支援する。 【みやぎの女性農業者ステップアップ応援事業】 ● 次代の担い手である優れた青年農業者等の確保・育成を図るため、研修等の相談から就農までの一貫した支援体制の整備を進め、円滑に就農できる環境を整備する。 【青年農業者育成確保推進事業】

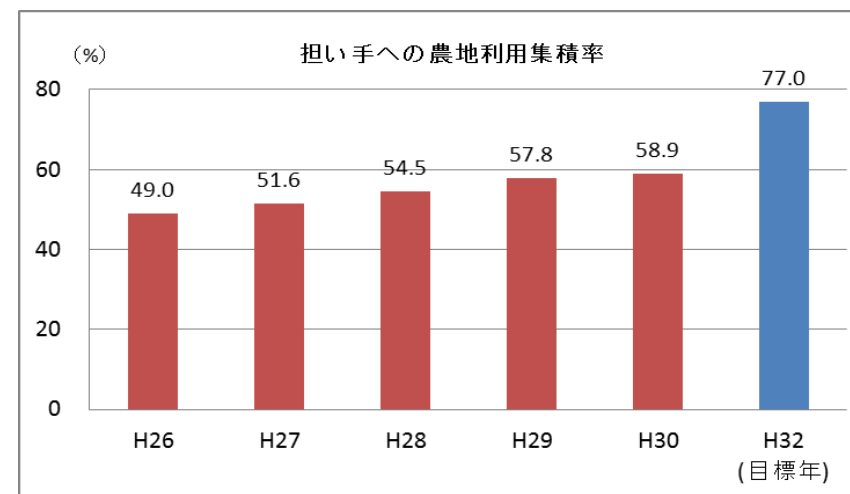
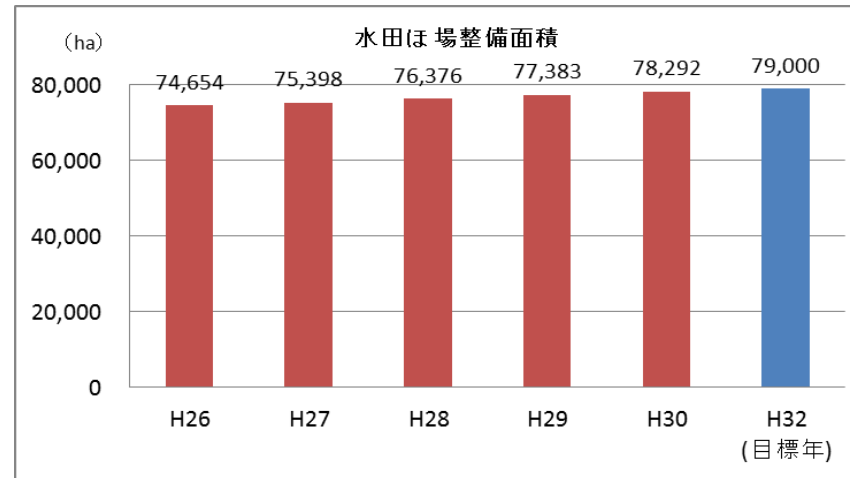
平成30年度主な施策の実施状況

主な推進指標の達成状況等

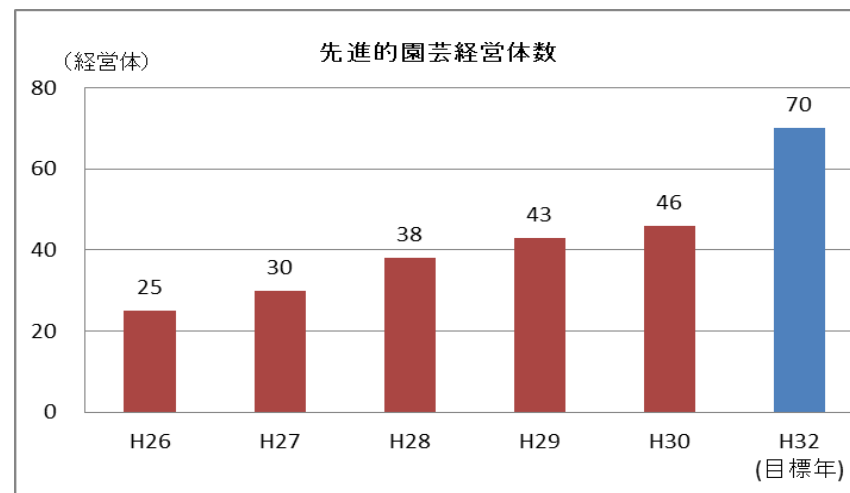
令和元年度の主な取組

- 施策
- ぼ場の大区画化、水田の汎用化等の整備を実施するとともに、農地中間管理機構の機能強化による担い手への農地集積を推進した。また、耕作放棄地解消に向けた事業活用の促進を図った。
 - 新品種「だて正夢」の本格デビューのプロモーションを展開。食味レベルアップ重点技術対策の継続的な取組により、食味ランキングにおいて「ひとめぼれ」「ササニシキ」「つや姫」の3品種で「特A」評価を獲得した。
 - 水田をフルに活用し、米態様の転作作物である飼料用米、加工用米及び輸出用米等の作付を推進するため「平成30年度宮城県水田農業推進方針」及び「宮城県水田フル活用ビジョン」を策定し、作物別生産目標の達成に向け、各地域農業再生協議会との連携を強化し、一丸となって推進した。
 - 園芸重点品目を中心とした産地づくり支援や県内外での県産品のPRを実施した。また、関係機関との連携による重点支援経営体への技術指導やいちご・トマトネットワーク活動の展開により、先進的園芸経営体を支援した。

◎水田のぼ場整備（20a以上の汎用化水田）は、概ね目標どおりに実施、中間管理事業の取組の進捗により集積率は増加



◎先進的園芸経営体は増加



- 農地の利用集積による経営基盤の強化を図るため、農地の大区画化・水田の汎用化に向けたぼ場整備を推進するとともに、被災農地の早期復旧を促進する。
【農地整備事業】
- 集落・地域での話し合いに基づき、地域の中心となる経営体や農業の将来の在り方等を定めた「人・農地プラン」の作成やその実質化に向けた取組を支援する。
【人・農地プラン推進事業】
- 農地中間管理事業により担い手への農地集積・集約を促進する。
【農地中間管理事業】
- 「みやぎ米ブランド化戦略」に基づき、平成30年に本格デビューした新品種「だて正夢」の生産対策やプロモーション・販売対策を実践することにより、「金のいぶき」、「ひとめぼれ」、「ササニシキ」と合わせた、「みやぎ米」全体の評価向上を図る。
【宮城米新品種ブランド力強化事業】
- 米政策改革の着実な推進に向け設定した主食用米の「生産の目安」に基づき、各地域において需要に応じた生産を支援する。
【経営所得安定対策等推進事業】
- 需要に対応した高品質麦・大豆の生産供給体制の構築を図るとともに、消費拡大への取組強化など需要拡大を推進する。
【売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業】
- 水田フル活用と所得向上のため、飼料用米の多収品種の作付拡大に向けた種子確保や地域内における利用を促進する。
【飼料用米利用促進事業】
- みやぎ園芸特産振興戦略プランに掲げる目標の実現に向け、「先進的技術を導入した施設園芸」と「収益性の高い土地利用型露地園芸」を推進する。
【園芸振興戦略総合対策事業、次世代施設園芸地域展開促進事業】
- 県育成いちご新品種「にこにこベリー」が本格デビューすることから、生産体制の強化とプロモーションによる認知度向上を図る。
【県育成いちご新品種「にこにこベリー」展開事業】

⑤⑥ 優良な水田を生産基盤に
⑦ 園芸の競争力の強化



大区画ぼ場整備（蕪栗沼地区）



農地集約化に向けた話し合い



「だて正夢」・「金のいぶき」栽培塾（現地検討会）



六本木ヒルズアリーナでの本格デビューイベント



環境制御技術者育成研修会



加工・業務用野菜現地研修会（ばれいしょの機械収穫）

平成30年度主な施策の実施状況 主な推進指標の達成状況等 令和元年度の主な取組

⑧⑨ 畜産「食の素材王国みやぎ」の盤強化による畜産物の販売戦略の展開と食産業の振興

⑩ 生産力と品質を高める農業技術の高度化

- 県内に優良雌牛群を整備するため優良雌子牛の導入・保留の推進や受精卵移植技術を活用した牛群整備をはじめ、県有基幹種雄牛「茂福久」号等を活用した質・量ともに優れた生産性の高い肉用牛づくりを推進し、「仙台牛」のブランド確立に努めた。
- 農業者や食料品製造業者を対象に、商談機会の創出、県外5会場で開催した物産展等を通じた県産品の国内での販路回復・拡大支援を行うとともに、農林水産物の輸出基幹品目について、海外での販売開拓の取組を支援した。
- 水稻新品種「だて正夢」の栽培法や、機能性表示販売に好適なルテイン含有量の多いハウレンソウの栽培法など、水田農業、園芸、畜産分野において9の普及技術を開発した。
- 大規模土地利用型経営体で、収量・食味コンバインによるデータの活用やドローンを利用したセンシングによる生育状況の把握の展示、実証を行い、効率化、省力化の取組を推進した。



霜降り度合を示す値が日本一の「茂福久」号



宮城県の物産と観光展（名古屋市）における仙台牛フェアの開催

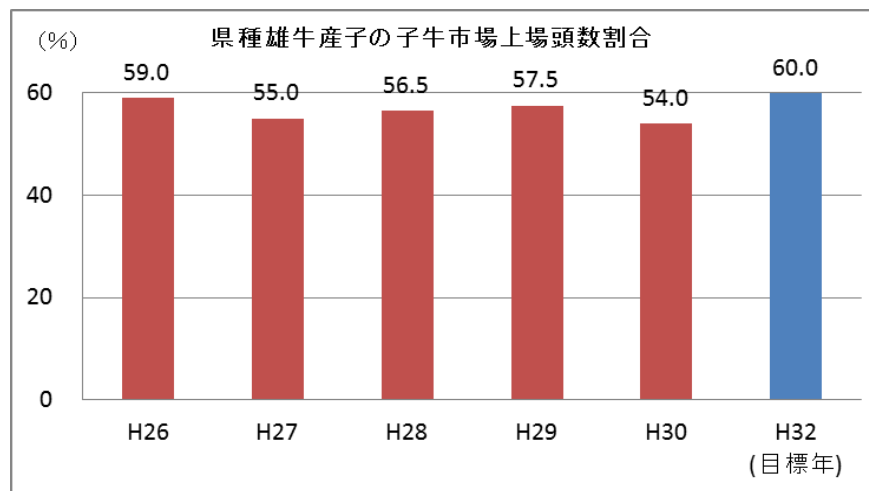


スーパーマーケットトレードショー宮城県ブース

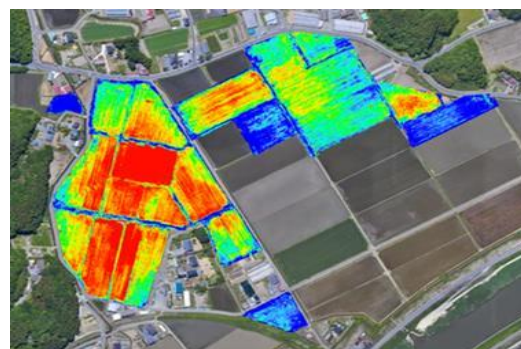
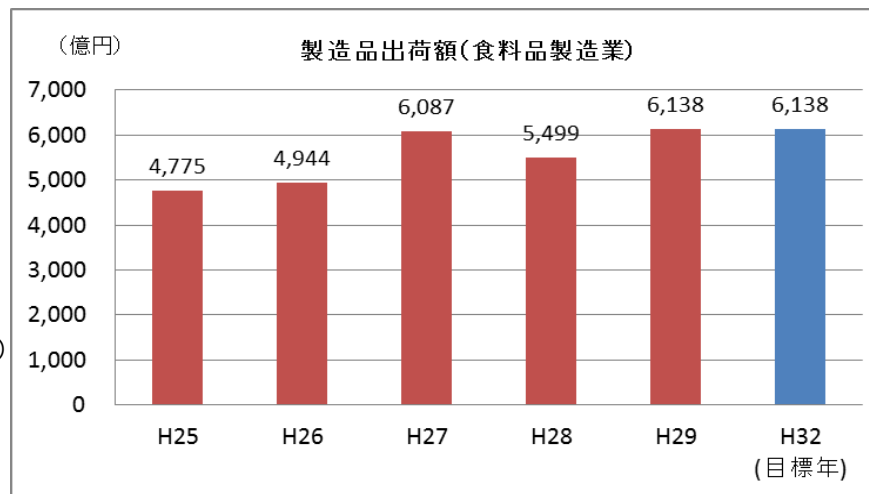


首都圏実需者の生産地視察

◎県種雄牛産子の県内子牛市場上場頭数割合は堅調に推移



◎製造品出荷額（食料品製造業）は目標を達成



ドローンを活用した水稻生育診断画像



- 県有基幹種雄牛「茂洋美」・「洋系波」・「茂福久」号を活用した質・量ともに優れた生産性の高い肉用牛づくりを推進し、「仙台牛」のブランド確立を推進する。
【みやぎの優良肉用牛生産振興対策事業、みやぎの肉用牛イメージアップ事業】
- 好成績を収めた宮城全共につき、次回全共においても継続して上位入賞を果たすため、出品条件に合う優れた出品候補牛の確保等を推進する。
【第12回鹿児島全共出品対策事業】
- 仙台牛生産の基礎となる子牛生産基盤の強化と生産性向上を図るため、優良雌子牛の県内保留を支援し、肉用牛の復興と経営の規模拡大を推進する。
【みやぎの子牛生産基盤復興支援事業】
- 県産食材のブランド化に取り組む生産者等への支援、首都圏での「食材王国みやぎフェア」の開催等、県産ブランド確立に向けた取組を支援する。
【県産ブランド品確立支援事業】
- 「宮城県農林水産物等輸出促進戦略」に基づき、海外での商談会の開催協力、物産展の開催、海外バイヤーの招へい等により、高品質な県産食品の輸出を促進する。
【輸出基幹品目販路開拓事業、県産食品海外ビジネスマッチングサポート事業】
- 被災地を新たな食料基地として再生させるため、試験研究機関や民間企業に蓄積されている先端技術の研究成果を現地普及させるため、現地実証や研修会等を開催する。
【食料生産地域再生のための先端技術展開事業】
- ICT等を活用した「スマート農業」の先端技術による超省力・高品質生産の展示・実証を行い、経営の効率化・高度化を推進する。
【スマート農業実証モデル推進事業】

Ⅲ 農業・農村の多面的な機能の発揮

平成30年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等		令和元年度の主な取組													
<p>施策</p> <p>⑪⑫⑬ 農環境・農業・農村にやさしいのが多い農業的機能の推進・資源の保全・発揮と管理と活用向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民が一体となった地域資源の保全活動に対する交付金等の支援、農林漁家レストランや直売施設等の交流施設の支援、「田んぼの学校」や小学校の総合学習支援等による多面的機能への県民理解醸成等を推進した。 ● みやぎの環境にやさしい農業の推進に向け生産者交流会、園芸研修会、消費者交流会、PR販売会を開催により、環境保全型農業に対する理解啓発活動を実施した。 	<p>◎地域住民が協働で行う農地の保全活動面積は、年々増加</p> <table border="1"> <caption>農村の地域資源の保全活動を行った面積 (ha)</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H32 (目標年)</td></tr> <tr><th>面積</th><td>64,079</td><td>71,563</td><td>73,463</td><td>74,437</td><td>75,490</td><td>85,000</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H32 (目標年)	面積	64,079	71,563	73,463	74,437	75,490	85,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の農業者等の協働による農地等の維持・保全活動を支援する。 【多面的機能支払事業】 ● 地域協議会や旅行会社等の関係団体の連携、情報共有を図るため、農山漁村交流プラットフォームを設立するほか、農林漁業体験受入に取り組んでいるグリーン・ツーリズム実践団体等を対象に、宿泊体験や交流促進のための情報発信等を支援する。 【むらまち交流拡大事業、みやぎ農山漁村交流促進事業】 ● 農業生産活動の基盤である農業水利施設等の機能を安定的に発揮させるため、効果的な予防保全対策や長寿命化対策等のストックマネジメントを推進する。 【水利施設整備事業、土地改良施設機能診断事業】 ● 農業水利施設を活用した発電施設の導入可能性調査等を実施する。 【小水力等農村地域資源活用促進事業】 ● 環境と調和した持続的な農業生産を目指す農業者の活動支援や認証農産物等の情報発信を積極的に行い、環境保全型農業への県民理解の醸成を図る。 【環境にやさしい農業定着促進事業】
年度	H26	H27	H28	H29	H30	H32 (目標年)											
面積	64,079	71,563	73,463	74,437	75,490	85,000											
	<p>山元町中山区農地保全会の農村環境保全活動</p> <p>みやぎグリーン・ツーリズムネットワーク大会（登米市）</p>	<p>◎都市農山漁村交流拠点施設の利用人口は堅調に推移</p> <table border="1"> <caption>主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用人口 (万人)</caption> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H32 (目標年)</td></tr> <tr><th>人口</th><td>1,187</td><td>1,279</td><td>1,298</td><td>1,485</td><td>1,444</td><td>1,600</td></tr> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H32 (目標年)	人口	1,187	1,279	1,298	1,485	1,444	1,600	
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H32 (目標年)											
人口	1,187	1,279	1,298	1,485	1,444	1,600											
	<p>外国人留学生を対象としたインバウンドモニターツアー（加美町）</p>																

Ⅳ 農村の活性化に向けた総合的な振興

平成30年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等		令和元年度の主な取組													
<p>施策</p> <p>⑭⑮ 農村活性化・暮らしを守るための生活環境の整備と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 農産物直売所に対して、商品の製造・販売に係る機械等の整備や、専門アドバイザー派遣等による商品力・販売力の向上を支援した。 ● 援農ボランティア、森林整備・資源活用ボランティア受入支援等により農村活性化を支援した。 ● 農業用施設の老朽化による災害被害を防止するため、ため池の整備や用排水施設等の整備を行ったほか、農村生活環境の改善のための集落排水整備を実施した。 ● 市町村等が実施する侵入防止柵の設置や有害鳥獣捕獲活動等の取組のほか、集落ぐるみの鳥獣被害対策等により地域における被害対策を支援した。 	<p>◎農産物直売所の推定売上額は増加傾向</p> <table border="1"> <caption>農産物直売所推定売上額 (億円)</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H32 (目標年)</td></tr> <tr><th>売上額</th><td>88</td><td>103</td><td>107</td><td>111</td><td>113</td><td>95</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H32 (目標年)	売上額	88	103	107	111	113	95	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域の耕作放棄地の発生防止、水路・農道管理など多面的機能の維持に向けた活動等を支援する。 【中山間地域等直接支払交付金事業】 ● 中山間地域の資源を活用した収益力のある農業を展開するため、リーダーの育成、地域の創意工夫にあふれる取組を支援する。 【中山間地ルネッサンス推進事業】 ● 援農ボランティア、都市農村交流、森林整備及び資源活用ボランティアの受入など人材交流の促進を支援する。 【農山村集落体制づくり支援事業】 ● 拡大傾向にある野生鳥獣による農作物への被害を軽減するため、被害防止に向けた普及啓発や人材育成を図るとともに被害防止活動を支援する。 【鳥獣害防止対策事業】 ● 防災、減災、国土強靱化のための緊急対策として、早急に対策が必要な防災重点ため池の安全性確保の取組を推進する。 【ため池等整備事業】
年度	H26	H27	H28	H29	H30	H32 (目標年)											
売上額	88	103	107	111	113	95											
	<p>直売所での農産物販売（美里町）</p> <p>柿の収穫の援農ボランティア（丸森町）</p>	<p>ため池整備:貝抜沢ため池（大崎市）</p> <p>野生鳥獣の侵入防止柵の設置指導（岩沼市）</p>															